

滝川市の人口減少を食い止める

3 年 A 組 17 番 里口 美空



1. はじめに

現在の日本全体の問題として、少子高齢化があげられる。特に少子化は深刻な問題であり、人口減少にも影響を与えるため、地方の過疎化も今後進んでいくだろう。滝川市でも、年々人口減少が進んでいる。滝川市の人口減少を食い止めるため、少子化・移住促進の2つの面からその方法を研究した。

2. 現状と課題

現在、滝川市の合計特殊出生率は全国平均の1.43よりも高い1.50だが、出生数よりも死亡数の多い自然減となっている。また、転出者が転入者を上回る社会減となっている。

	H26	H27	H28	H29	H30
出生	270	288	260	254	234
死亡	559	522	543	566	599

図1 滝川市の出生数と死亡数(年度別)

滝川市では移住促進にあまり積極的ではなく、滝川市の紹介ムービーの掲載と住宅や土地の情報を提供するサービスしか行っていない。人口減少が問題視されている中、滝川市の人口は平成30年度には4万人を切り、今後も減少していくことが予想される。

6. 研究の成果・分析

1. 合計特殊出生率が高い市町村として、先行研究にあげた岡山県奈義町のほか、道内の上位である奥尻町(1.78)、えりも町(1.75)、別海町(1.74)と滝川市の子育て支援制度を比較した。

	滝川市	奈義町	奥尻町	えりも町	別海町
未熟児養育医療制度	○	○			○
妊婦への講習会など	○	○			○
出産一時金(第一子)	—	10万	3万	3万	3万
医療費助成(負担金なし)	未就学児	高校卒業まで	(1割負担)	(千円負担)	中学卒業まで
妊娠・出産・子育ての相談窓口	○	○	○	○	○
幼児教育・保育の無償化	○		○	○	多子世帯のみ
一時保育	○	○			
子育て支援センターでの催し物など	12個	—	—	2個	—
学童クラブ・児童館	○	○		○	○
ファミリーサポートセンター	○				○
こども発達支援センター	○		○	○	○
高等学校就学支援金支給		○			
ひとり親への支給		○			
未熟児訪問指導		○			
ベビー用品の貸し出し		○	○		
教育支援ボランティア		○			
出産祝い品			○		

図2 5市町村の子育て支援制度の比較

7. 考察

- 合計特殊出生率の差に、子育て支援制度の違いはあまり関係がないことがわかった。
- 人口減少によって地方の過疎化が進むなか、移住促進をすることで、地域が持続・活性化し、住み続けられる街につながっていくだろう。

8. まとめ

この研究を通し、滝川市の人口減少を食い止めるための一つの方法として、移住促進に積極的に取り組む必要があると感じた。自然の多さや生活のしやすさなどの魅力を道外に発信したり、移住イベントへの参加など、滝川市に興味を持ってもらうための取り組みをしていくことが大切だと思った。

3. 先行研究

合計特殊出生率が高い市町村として有名なのが岡山県奈義町であり、令和元年の出生率は「2.88」を達成した。高等学校就学支援金支給やベビー用品の貸し出しなどの手厚い子育て支援策が実を結んだ結果とな

4. リサーチクエッション・仮説

- 滝川市と“合計特殊出生率が高い市町村”の出産・育児に関する制度を比較すれば、滝川市に足りない制度を知ることができるのではないかと。
- 移住促進に積極的に取り組んでいる市町村と滝川市の制度を比較して、どの制度が魅力的か考察することで、滝川市に必要な移住促進の取り組みがわかるのではないかと。

5. 研究方法

- “合計特殊出生率が高い市町村”を調べ、どのような子育て支援の制度があるのかを表にまとめ、現在の滝川市との比較をする。
- 移住促進に積極的な市町村として北海道深川市を取り上げ、「深川市移住定住センター」に問い合わせをし、移住者増加に魅力的な取り組みについて考察をする。

2. 「深川市移住定住サポートセンター」の取り組み

①オンライン個別移住相談(令和2年度から開始)

- 令和2年度は3件の相談
- オンライン以外の相談(電話・メールなど)も増加しており、令和元年度が30件、令和2年度は48件と1.5倍以上になっている。

②深川市に移住された方が多く利用した取り組み

- サポートセンターでは、電話、メール、オンラインでの相談対応や、移住希望者への移住体験・市内案内ツアー、職業紹介や空き家紹介のほか、首都圏等への移住イベントへの出展も行っている。
- 本州からの移住者は、移住イベントで深川市に興味を持ち、その後移住体験や市内案内ツアーに参加して移住を決断する方が多いという。

③深川市の移住実績(サポートセンター設置後)

	H28	H29	H30	R1	R2
件数	10	18	6	22	30
人数	30	40	14	55	58

計86件のうちサポートセンターと関わりがあったのは49件である。

- 滝川市に比べ、多くの移住者増加の取り組みを行っている深川市では、その効果が目に見えて現れている。なかでも、首都圏での移住イベントへの参加が本州の方に興味を持ってもらえる良い機会となっているようだ。

9. 参考文献、協力者等

調査協力: 深川市移住定住サポートセンター 竹内香穂さん

深川市移住定住サポートセンターHP (<https://www.city.fukagawa.lg.jp/iju/>)

滝川市HP (<https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/>)

奈義町HP (<https://www.town.nagi.okayama.jp/>)

奥尻町HP (<https://www.town.okushiri.lg.jp/>)

えりも町HP (<https://www.town.erimo.lg.jp/>) 別海町HP (<https://betsukai.jp/>)

厚生労働省 統計表 市町村別合計特殊出生率・標準化死亡率 (<https://www.mhlw.go.jp>)